

## 1. 仮設工事 (1)

仮設工事の目的は、計画された建物を無事故、無災害で定められた工期内に完成させることである。

### ガードフェンス設置のチェックポイント

- ・現場入口に関係者以外立ち入り禁止処置
- ・近隣及び前面道路に対しては、充分配慮
- ・狭小敷地で工事着手前に設置できないような場合はこれに変わる安全対策を講じる

ゲートは常時閉じておく。  
出入りや資材搬入時の閉じ忘れに注意する。



1-1

### 工事看板のチェックポイント

- ・転倒や飛散などしないよう充分な固定
- ・建築確認表示、労災保険成立票表示、主任責任者氏名表示、労務表示などの記載

第三者に対して見やすい位置に設置する。



1-2

### 仮設電気のチェックポイント

- ・アース配線がされていること
- ・安全な高さを確保し、垂直に立ち、傾きがないこと

漏電など支障がないか定期的に点検する。

分電盤ケースの表には取扱責任者などを表示すること。



1-3

### 仮設トイレのチェックポイント

- ・転倒防止の固定処置
- ・清掃の状況 (定期に清掃)
- ・使用するのに通路など障害がないか

近隣に配慮した場所に設置する。



1-4

## 1. 仮設工事 (2)

### 保安BOXのチェックポイント

- ・ 使いやすい位置に設置する
- ・ 備品が揃っているか確認  
(ヘルメット、安全帯、救急セット、消火器、スリッパなど)

定期的に備品を点検する。



1-5

受耕などの排水処理状況を確認する。



1-6

### 敷地養生・道路養生のチェックポイント

- ・ 必要な場合は出入り口部分に敷板などの養生
- ・ 敷地から土が道路側溝に流れ出ないように配慮

ぬかるみが発生しないように養生がされているか確認する。



1-7

事前に電力会社へ依頼して、必要とする場所に絶縁用防護管を取り付ける。



1-8



## 2. 地縄張り

水系などを張り、建物の位置と形状を決定するもので、正確さが要求される。

### 地縄張りのチェックポイント

- ・ 設計図書および建物配置の立会い確認書などと、敷地形状・地縄位置を照合
- ・ 敷地境界杭の位置
- ・ ベンチマークの設置および養生状況
- ・ 設計 GL の設定
- ・ 敷地境界線と地縄の位置関係
- ・ 建物配置上空の障害物有無
- ・ 付帯設備の位置関係
- ・ 外構計画、排水勾配、隣地取り合いへの配慮
- ・ 基準線側だけでなく、その他敷地境界線との空き寸法の確認
- ・ 建物周り、および対角線の寸法確認

基準となる敷地境界線からの空き寸法を確認する。

設計図書と照合して緩みがないように地縄を張る。

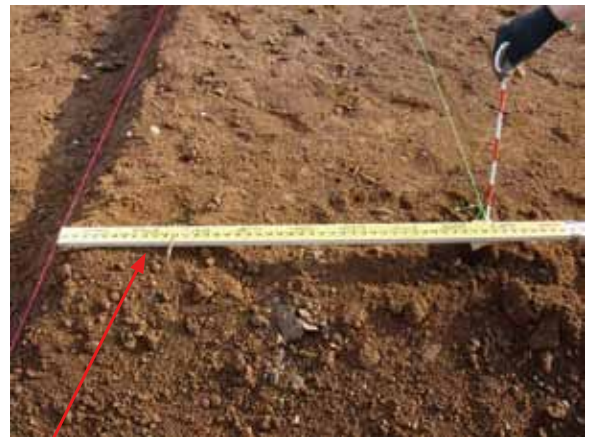
敷地の境界寸法を計測し、敷地境界線を特定する。

### 法規制のチェックポイント

- ・ 道路後退の確認
- ・ 道路斜線の確認
- ・ 壁面後退の確認
- ・ 北側斜線制限の確認
- ・ 採光斜線制限の確認
- ・ 建築協定の確認
- ・ その他法規制の確認

基準線側以外の敷地境界線との空き寸法を確認する。

建物対角線の長さを算出して寸法確認を行う。



2-1



2-2



2-3



2-4